



学習部便り

No. 1

5月号 作成：附属中学学習部

いよいよ中間テストです！

5月20日（木）・21日（金）は1学期の中間テストです。今年度初めてのテストになりますが、計画的に学習を進めることができたでしょうか。本校では、定期テストの2週間前に範囲表と計画表を配付し、テストに向けた目標と計画を立てています。計画表は矢東LIFEに入れて、毎日確認と記録をしながらテスト勉強を進めてきたことと思います（そう願っています！）。勉強してきた成果が発揮できるよう最後まで集中してテストに臨みましょう。

【日程】

月日	実施時間	1年生	2年生	3年生
5月20日（木）	1・2・3	社 理 国	英 社 数	数 国 理
5月21日（金）	1・2	数 英	国 理	英 社

※ 20日（木）はテスト終了後、清掃と帰りの会を行い、下校になります。お弁当はありません。

※ 21日（金）は3限に授業を行い、午後は2-1と3-1のみ伝統文化教室を行います。

目標や計画は大切ですが、目標を忘れてしまったり、計画通りに進められなかったりする人もいないでしょうか。計画表の裏面には、振り返りを記入する欄が設けてあります。テスト終了後には、点数がどうだったかだけでなく、目標と計画、それに対する自分の取り組みについて振り返り、今後の学習に生かしましょう。振り返りを行うことで、少しずつ自分に合った学習を身につけていってほしいと思います。

なお、計画表の裏面には保護者のコメント欄もありますので、保護者の皆様にはご記入いただきますようよろしくお願いします。



本校で実施しているテストについて

◇定期テスト

それまでの授業での知識や技能を中心とした（一部応用問題も出題されます）学習内容の定着の度合いを測るテストで、年間5回実施しています。毎回、その結果から授業での学習態度や復習への取り組みなどを振り返り、よりよい学習方法の獲得を目的としています。

◇学力推移調査

日々の学習で身についた総合的な学力（知識・技能などの基礎基本とそれらを応用する力）を測定するためのテストです。3年間で6回程度実施し、学力や学習習慣、進路意識などの推移を確認しながら指導に生かしています。結果は点数だけでなく、全国偏差値やGTZ（学習到達ゾーン）もあわせて出するため、高校卒業後の進路についてある程度の見通しをもつことができます。さらに、学習実態調査をあわせて実施することで、テスト後の計画や目標の設定にも活用しています。



◇中学総合学力調査

新しい大学入試で重視される「思考力・判断力・表現力」を測定・育成するための記述・論述型のテストです。各学年1回実施しています。結果は得点ではなく4段階のレベルで示されます。さらに、各教科とも、①内容を理解する、②内容について考察・分析・判断する、③表現する、という3つの観点ごとのレベルも示されるので、どの力がどこまで身についているかを確認することができます。

◇GS（ジェネリックスキル）測定テスト

普段の生活では見えにくい能力や意識・行動特性を見える化することで、「今の状態」を測定・把握するためのテストです。

河合塾資料より

- ・ジェネリックスキル…学校生活や社会で役に立つ汎用的な能力
- ・リテラシー…知識を活用して問題を解決する力（考える力）
- ・コンピテンシー…人と自分にベストな状態をもたらそうとする力（行動する力）



テスト後、リテラシー4項目とコンピテンシー9項目についての評価とその分析結果、さらに、アンケート結果から進路や学習に対する意識や志向性、生活習慣などをまとめたものを返却します。教科のテストとは異なる視点から自分の現在の能力・特性を理解することで、自分の強みと弱みを把握する機会として考えています。

◇実力テスト（2・3年生のみ。3学期に実施）

学年末の段階で、5教科の学習内容の理解度と定着度を測るテストです。各教科とも県立の高校入試と同じような形式での出題になります。出題範囲のある定期テストとは別に5教科の力を測る機会を設け、次の学年に向けた目標の設定と学習方法の見直しに生かしています。

重要!

一年間にたくさんの種類のテストを実施していますが、テストのために学習するのではなく、テストを「日々の学習の成果を確認する機会」として考えていただきたいと思います。テストによって測る力に違いはありますが、テストはその結果から今の自分の力を把握し、今後に向けた改善点や目標を見つけ、その後の学習や生活に生かすためのものだと考えましょう。振り返りをするときやテストの結果を確認するときは、そのことを意識してほしいと思います。